

政策分野	001	生活環境	政策項目	004	消防・救急	施策	001	消防・救急体制の確保/消防団の充実強化	担当課	南空知消防組合消防署/消防課/警防係
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
008	消防車両などを計画的に更新します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8)目標値	後期(R12)目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 消防車両更新 (単位:台)	1	7	2	3	1	1		14%	I 更新時期を向かえた消防車両等の更新
成果指標	I 消防車両更新の進捗率 (単位:台)	1	7	2	3	0	0		0%	I R3 = 第1分団第2部車更新 (令和4年2月検収) 更新計画に則り更新

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	令和7年度事業である広報車更新について、入札執行し落札業者と契約締結したが、車台車両が現行型から新型への移行に伴う生産調整期間に差し掛かってしまったため、車両メーカーから契約業者への車台供給の見通しが立たず、車両製作に着手できていない状態。 なお、令和6年度事業である化学車更新については、車台車両は昨年度末に契約業者のもとに納入され、艤装詳細について当方と協議を進めながら令和7年度中の納入を目指して車両製作中。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	入札執行し、落札業者と契約締結。車両メーカーから契約業者への車台供給の見通しが立たないため、契約業者も車両製作に着手できない。
課題・問題点	車台車両の供給時期次第では、令和7年度中に納車されないことも考えられる。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 災害の発災時はもとより日常における予防啓発等においても、配備が待たれる車両である。納入までの進捗状況について契約業者と連絡を密に取りながら事業を進めていくこと。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	広報車の入札は完了し、車両の納車待ちとなっている。車台車両の供給状況、製作等について、契約業者と連絡を密に取りながら進捗状況を把握し、計画を進める必要がある。
--	---

政策分野	001	生活環境	政策項目	004	消防・救急	施策	001	消防・救急体制の確保	担当課	南空知消防組合消防署/生活安全課/救急救助係
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
009	現場活動する隊員の安全を守るため、装備品を整備、更新します。							新規	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8)目標値	後期(R12)目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I更新装備品数(単位:件)	0	4	3	1	1	1		25%	I災害現場で使用する職員の装備品等の更新
成果指標	I更新装備品の進捗率(単位:件)	0	4	3	1	1	1		25%	I更新計画に則り更新(空気ボンベ15年、空気呼吸器15年、リユース型感染防止衣5年、職員防火衣10年で更新)

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	令和7年度は、空気ボンベ7本の更新を予定しており、入札を終え、10月中に納品予定となっています。装備品の劣化状況を踏まえて、計画的に更新していくこととする。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	現場活動する隊員の安全に関わることから劣化状況等を把握し、計画的に装備品の更新を検討することで隊員の安全を確保していくこととする。
課題・問題点	耐用年数が高い為、経年劣化や破損等と使用頻度を踏まえたと耐用年数前にも更新を検討していく必要がある。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	現場活動をする隊員の安全確保をするため、装備品には高い安全性が求められており、定期的な点検をすることで隊員の安全性の向上につなげるとともに住民の安全の確保に貢献することを目標としていく。
--	---

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 隊員の安全を確保する為に必要な装備品の整備及び更新を第一とし、必要を明確にした上で更新時期を検討していく事とする。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外

政策分野	001	生活環境	政策項目	004	消防・救急	施策	001	消防・救急体制の確保	担当課	南空知消防組合消防署/生活安全課/救急救助係
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
010	AEDの活用など救急救命講習を実施します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動 指標	I 救急救命講習（一般、普通）実施回数（単位：名）	18	40	40	25	41	12		30%	I 基準値：H25 ※年40回実施
成果 指標	I 救急救命講習参加名員（単位：名）	217	1,000	1,000	430	488	224		22%	I 基準値：H25 ※年1000名参加

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	令和7年度9月末時点で救急救命講習を12回実施し、受講人数については224人だった。
施策の分析 (目標達成・未達成 に関する要因分析)	広報・PR活動を実施し救急講習の大切さを地域住民に理解してもらい、受講者数を増やしていくこととする。
課題・問題点	一般町民による心肺蘇生や応急手当の大切さが理解されておらず、救急救命講習の受講者数が少ないのが現状である。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、 重点的・優先的に取り組む施策等)	近年、救急出場件数が増加しており、一般町民による心肺蘇生・応急処置が救命率の向上に密接にかかわっている状況であります。広報・PR活動を強化していき、救急救命講習受講者数を増加させるとともに、一般町民による心肺蘇生・応急処置の重要性を理解してもらうことを実施していく。
--	---

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 今後とも引き続き広報・PR活動を実施し、救急救命講習受講者数の増加を図る。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外

政策分野	001	生活環境	政策項目	004	消防・救急	施策	002	消防施設の整備	担当課	南空知消防組合消防署/消防課/総務係
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
011	老朽化した消防施設等を改修・整備します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 消防庁舎等改修工事の発注（単位：件）	-	2	2	1	1	0	0%	R5 = I 訓練棟解体及び建替工事 II 消防職員待機宿舎D棟外壁及び屋根塗装 R6 = I 消防庁舎外壁塗装・屋上防水工事及び仮設足場設置 R7 = II 消防職員待機宿舎A棟・B棟外壁及び屋根塗装	
	II 消防待機宿舎改修工事の発注（単位：件）	-	4	-	1	0	2	50%		
成果指標	I 消防庁舎等改修工事進捗率（単位：%）	-	100	100	100	100	0	0%		I・II庁舎等施設整備計画により整備
	II 消防待機宿舎改修工事進捗率（単位：%）	-	100	100	100	0	50	50%		

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	令和7年度は消防待機宿舎A棟・B棟外壁及び屋根塗装の事業を実施。 A棟 4,620千円 B棟 4,785千円（B棟については消防署費と消防本部費で按分支払い 消防署費2,392,500円 消防本部費 2,392,500円）
施策の分析 （目標達成・未達成に関する要因分析）	消防待機宿舎A棟・B棟外壁及び屋根塗装は計画通りに実施しております。工事期間は8月下旬～11月下旬を予定。
課題・問題点	必要最低限の修繕に留めながら長寿化を実施しているが、建築してから相当年数が経過しているため室内の老朽化も著しく進んでおり、設備、水回り等についても故障、補修等のメンテナンスコストが高くなってくと想定される。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 （担当課長）	①計画通りに進める 今回の外壁・屋根塗装によって建物の長寿化が一定期間図られたところではある。今後についても予防保全的な点検・修繕を計画的に推進し、ライフサイクルコストの縮減を図ること。 同時に待機宿舎（職員住宅）の将来的な必要性についても検討を重ねること。
2次評価 （副町長）	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 （町長）	※評価対象外

今後の展開・方向性 （国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等）	消防職員が入居する待機宿舎について、築40年を超える木造建物として経年劣化は相応にあり、今後のメンテナンスにかかるコストを相対的に判断し、建物使用期限を視野に入れたうえでの修繕計画の検討が必要であるとする。 また、従前は緊急参集が必要な災害対応の観点からは重要な施設と考えられていたが、現在においては職員招集システムの導入、消防組合として構成する他町消防からの災害応援体制が確立されていることも鑑みて、将来的な必要性についても合わせて検討が必要になってくる。
--	--

政策分野	001	生活環境	政策項目	004	消防・救急	施策	003	消防団活動の充実・強化	担当課	南空知消防組合消防署/消防課/総務係、消防団係
------	-----	------	------	-----	-------	----	-----	-------------	-----	-------------------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
012	消防団施設の更新など、消防団活動の充実・強化を図ります。	継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8)目標値	後期(R12)目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 消防団施設等改修工事及び備品等の更新 (単位:件)	2	11	0	2	3	2		18%	I R3 = 団員防火衣 (122着) 備荒資金組合防災資機材譲渡事業 第3分団第2部庁舎屋根、外壁塗装 I R4~R8 = 消防団員用被服一式 (133着)、消防団員用雨衣 (133着) 備荒資金組合防災資機材譲渡事業
										R6 屋外拡声放送設備については現設備が経年により不具合、故障となったときに、更新する計画としているため、使用可能であれば次年度へ計画移行されるものである。
成果指標	I 消防団施設等改修工事及び備品等の更新 (単位:件)	2	11	0	2	2	2		18%	I R4~R8 = 消防団員用被服一式 (133着)、消防団員用雨衣 (133着) 備荒資金組合防災資機材譲渡事業
										R7 = 屋外拡声放送設備整備 R7 = 第3分団第1部庁舎屋根、外壁塗装
										R8 = 第2分団第2部庁舎屋根、外壁塗装 庁舎等施設整備計画により整備

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	令和4年度に北海道市町村備考資金組合の防災資機材譲渡事業を活用し購入。 総事業費：団員用被服一式 3,352,893円 団員用雨衣 1,366,403円 (5年償還) 令和7年度の支払 (4回目)：団員用被服一式 840,200円、団員用雨衣 302,792円
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	消防団施設や団員の装備を整備することが、地域住民の生命、身体、財産の確保と被害軽減を図る事に繋がるため、今後とも計画的に実施していくこととする。
課題・問題点	各分団とも老朽化が進んでおり、修繕箇所が多く、多大な費用がかかることが予想されるため、老朽具合を定期的に確認し、長寿命化を図るための修繕内容について優先度を考慮しながら計画的に実施していくこととする。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	災害から地域住民の生命・身体・財産を守るためには、消防団設備の更新により消防団活動を強化することが最適であるため、今後とも消防団施設及び団員装備を計画的に実施していくこととする。
--	---

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 今後についても、消防団、地域住民と情報共有を図り、個別施設計画に基づき優先度を考慮しながら事業を進めていくこと。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外